

科目名 Course Name	心理学と心理的支援 Psychology and Mental Support			ナンバリング No.	I1-008		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	榊 緑						
連絡先(質問等)	C-Learning で対応						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP2、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>人を援助するには、日常的に生じてくる「こころ」の現象を、客観的に理解することが求められる。その視点は、決して共感的姿勢に矛盾するものではない。本講義では、社会的動物である人間の「こころ」のしくみを、社会環境との関連に注目しながら理論的に解説するとともに、具体的な支援の方法を紹介する。支援を必要としている対象が何を求めているかを適宜理解する視点を体得して欲しい。</p> <p>そこで心理学における基本的な考え方や心理的支援に関する技法を紹介するので、これらを</p> <p>①社会生活および自他の理解を深めるのに利用できるようにする。 ②支援者としてのスキルアップの一助とすることができるようにする。 ③支援の理論的根拠として説明・記述できるようにする。</p>						
授業の方法	視覚教材、プリント等も活用しながら講義形式にて進行する。単元の終了ごとに小テストを行う。学期末に試験を実施する。						
学習成果	L01						
	L02	①社会福祉士に要求される心理学の基礎知識と、心理療法の専門的・理論的背景を説明することができる。 ②支援を必要とする対象が何を求めているかを適宜理解する視点と、心理的支援技法とを身につけることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック							
教科書/参考図書	教科書:『心理学と心理的支援』社会福祉士養成講座編集委員会〔編〕中央法規。 参考書・資料は初回授業はじめ各回授業で随時紹介する。						
履修上の留意点やルール等	私語・居眠り・授業に無関係の行動・不参加は授業参加態度において減点の対象とする。事前・事後学習時間の目安は各回 180 分相当とする。						
担当教員の実務経験							
成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	講話を集中して聴き、板書した内容だけでなく、重要だと判断したことは主体的にノートに書き取ること。疑問に思ったことを臆さずに質問できるとたいへん好ましい。		15				
レポート/作品	演習後のリアクションペーパーの内容を評価の対象にする。演習に真摯に取り組み、その体験から得たことを的確に文章化できていることを期待する。		10				
発表							
小テスト							
試験	設問への適切な回答がなされていることを評価する。このため具体的な事象・事例については、当てはまる記述を抜き出すことができることや、似た事例との区別がなされた解答はおおいに加点の対象となる。		75				
その他							

合 計		100		
-----	--	-----	--	--

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション:心理学の視点 人を理解する手段としての心理学 心理学の歴史と対象 心を探求する方法の発展 社会福祉実践と心理学
	事前・事後学習	事後学習として、他専門教科と心理学との関連性をマッピングする。
2	授業内容	人の心の基本的な仕組みと機能:感覚・知覚心理学
	事前・事後学習	テキストを読み予習しておく。事後学習として、授業内で紹介したサイトでどのような錯誤があるのか自身で体験しながら復習する。
3	授業内容	人の心の基本的な仕組みと機能:記憶・認知
	事前・事後学習	テキストを読み予習しておく。事後学習として、人間の記憶のメカニズムについて復習を行う。
4	授業内容	人の心の発達過程:発達心理学①生涯発達 発達段階・発達過程
	事前・事後学習	発達の中でどのように変化が起こるのかまとめておく。事後学習として、配布プリントの学習を補う。
5	授業内容	人の心の発達過程:発達心理学②心の発達の基盤 愛着
	事前・事後学習	発達の中でどのように変化が起こるのかまとめておく。事後学習として、配布プリントの学習を補う。
6	授業内容	人の心の基本的な仕組みと機能:個人差 知能・パーソナリティ
	事前・事後学習	テキストを読み予習しておく。事後学習として、配布プリントの学習を補う。
7	授業内容	人の心の基本的な仕組みと機能:学習 行動 学習と条件づけ:観察学習 洞察 馴化と鋭敏化 行動療法
	事前・事後学習	自己の今後の学習の中で、今回の内容がどのように有効活用できるのか、具体的に書き出す。事後学習として、配布プリントの学習を補う。
8	授業内容	人の心の基本的な仕組みと機能:感情 動機づけ①
	事前・事後学習	テキストを読み予習しておく。事後学習として、配布プリントの学習を補う。
9	授業内容	人の心の基本的な仕組みと機能:動機づけ② 欲求 防衛規制
	事前・事後学習	自身がどのように物事に対して動機づけられてきたかを振り返り、今後どのように役立てることができるか考える。事後学習として、配布プリントの学習を補う。
10	授業内容	日常生活と心の健康:心の不適応 健康生成論 ストレスとコーピング
	事前・事後学習	日常生活におけるストレス場面を想定すると共に、生活習慣や行動パターンを見直す。テキストを読み予習しておく。事後学習として、配布プリントの学習を補う。
11	授業内容	人の心の基本的な仕組みと機能:人と環境 社会心理学①意思決定・説得
	事前・事後学習	自身が過去にどのように態度変容が起きていたか振り返る。事後学習として、配布プリントの学習を補う。
12	授業内容	人の心の基本的な仕組みと機能:社会心理学②集団・組織 対人関係
	事前・事後学習	個人行動場面と集団行動場面での自分の行動の相違が、どのような心理学的メカニズムによって発生したのかを考察する。配布プリントの学習を補う。
13	授業内容	心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本:心理アセスメント
	事前・事後学習	テキストを読み予習しておく。事後学習として、配布プリントの学習を補う。
14	授業内容	心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本:心理的支援の基本的技法 心理療法におけるアセスメントと介入技法 心理療法の実際
	事前・事後学習	第13回で行ったアセスメントと併せて、どういった心理療法が行われているのか紐付けを行う。事後学習として、配布プリントの学習を補う。
15	授業内容	心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本:心理の専門職 ソーシャルワークと心理学 公認心理師とは
	事前・事後学習	第13、14回で行ったアセスメントや心理療法と併せて、どういった実践が行われているのか調べる。また、授業全てを振り返り、期末考査に備える。